

週間感染症情報

2019年15-16週 2019年4月8日より2019年4月21日まで

15週 16週

麻疹			遅くなりましたが、15週と16週の報告です。インフルエンザの報告数は、多くありませんが続いています。
風疹			B型の報告が多いです。岡山市の加茂小ではインフルエンザBの小流行があり、学級閉鎖も出ています。
水痘(みずぼうそう)	2		連休が始まり、海外に出かける方も多く、感染症の国内持ち込みも懸念されます。
ムンプス(おたふくかぜ)			溶連菌感染症の報告は引き続き多いです。感冒との合併例もあります。
百日咳			手足口病やヘルパンギーナなど夏のウイルス性疾患(いわゆる夏かぜ)の報告が増えています。
溶連菌感染症	22	20	感染性胃腸炎の報告は減少しました。ノロウイルスと思われる症例がほとんどですが、ロタウイルス陽性例や、
手足口病	5	8	アデノウイルス陽性例もありました。カンピロバクターや病原性大腸菌O1など細菌性胃腸炎もありました。
ヘルパンギーナ	2	3	暖かくなり伝染性膿痂疹が増えてきました。
伝染性紅斑	1	1	検査で陽性例のみ報告していますが、ヒメタニューモウイルス感染症が市内で流行しています。特に治療法はありません。
感染性胃腸炎	31	30	RSウイルスに似たウイルスで、症状は鼻汁・発熱・咳などで、症状も似ています。肺炎で入院例もあり、長引くかぜ
ロタウイルス(再掲)	1	1	の多くはこのウイルスが関与していると思われます。大人にも感染し、高齢者の方は特に注意が必要です。
便アデノウイルス(再掲)	1	2	
突発性発疹	2	3	全国で麻疹(はしか)が流行しています。
伝染性膿痂疹(とびひ)	5	6	2019年15週までの報告数は406例で、2014年の年間報告数462例に迫っています。世界でも、ワクチン接種率の低下とともに、麻疹排除国と認定された国でも報告数が増加しています。
ヘルペス性口内炎		1	1歳になったらすぐにMR(麻しん・風しん)ワクチン接種を、年長児は2回目の接種を忘れずにすぐに受けましょう。
アデノウイルス感染症	1	1	(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 http://miyakenaika.com 変更になりました。)
RSウイルス感染症	2	2	
マイコプラズマ感染症			
ヒメタニューモウイルス	1	5	
インフルエンザ(臨床診断含む)	13	14	
インフルエンザA	5	9	
インフルエンザB	7	4	

